

福島空港メガソーラー事業について

平成25年9月6日

福島県は、再生可能エネルギーの先駆けの地の実現を目指し、福島空港敷地内に1.2メガワットの太陽光発電所を建設し、平成26年3月より運転を予定しています。

本発電所は、新しい産業である「再生可能エネルギーを利用した発電事業」推進のための拠点であり、次世代エネルギーパークの中核施設として、また、「ふくしまから はじめよう。」を实践する本県復興のシンボルとして位置付けられるものであります。



【福島空港メガソーラー 完成イメージ】

同施設の運用に当たっては、産業技術総合研究所^(※)との連携により、多種多様なパネルの長期運用・評価を実施するとともに、先進的な架台の検証・評価を行うなど、再エネの事業化に必要なノウハウと経験を蓄積し、地域主導による事業化支援につなげてまいります。

また、この事業を行うにあたりましては、再エネ事業への県民の参加機会を設けるための「県民参加型ファンド(平成25年11月募集案内予定)」をモデル的に導入し、地域に利益が還元する仕組みを構築していきます。

[参考情報]

1. 今回の発電事業の概要

- (1) 事業主体: 福島発電株式会社
- (2) 設置場所: 福島空港敷地内(須賀川市狸森下竹ノ内、玉川村北須釜山田)
- (3) 設備容量: 約1.2MW
- (4) 施設面積: 約2ha
- (5) 完成時期: 平成26年3月予定

2. 福島発電株の概要

- (1) 本社所在地: 福島県福島市中町5-21
- (2) 事業内容: 再生可能エネルギー等による発電事業
- (3) 代表者: 代表取締役社長 東之弘
- (4) 資本金: 9,800万円程度(県出資4,500万円に加え、金融機関や市町村、民間企業等からの出資を受ける予定)

(※) 独立行政法人 産業技術総合研究所では、現在、郡山市内に再生可能エネルギーの研究開発拠点となる「福島再生可能エネルギー研究所」の建設を進めており、平成26年4月のオープンを予定しています。

本件に関するお問い合わせ先
企画調整部エネルギー課 主幹 齋藤 善護 (内線2349) 電話024-521-7814